



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月12日

上場会社名 サンコーテクノ株式会社 上場取引所 東  
コード番号 3435 URL <https://www.sanko-techno.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 洞下 英人  
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 安田 伸一 (TEL) 04-7157-3535  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	15,702	△0.4	1,046	△32.9	1,061	△31.4	948	△30.1
2024年3月期第3四半期	15,760	5.2	1,560	12.7	1,546	14.0	1,356	39.8

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 1,244百万円(△20.5%) 2024年3月期第3四半期 1,564百万円(31.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	119.95	119.04
2024年3月期第3四半期	171.73	170.27

(注) 2024年3月期連結会計年度末において企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2024年3月期第3四半期連結累計期間の関連する各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	26,179	18,538	69.5
2024年3月期	24,629	17,564	70.0

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 18,189百万円 2024年3月期 17,242百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	34.00	34.00
2025年3月期	—	0.00	—		
2025年3月期(予想)				38.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	4.1	1,850	△10.5	1,850	△9.4	1,300	△25.3	164.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期3Q	8,745,408株	2024年3月期	8,745,408株
2025年3月期3Q	837,843株	2024年3月期	844,343株
2025年3月期3Q	7,904,676株	2024年3月期3Q	7,900,576株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(セグメント情報等の注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化が進み、景気持ち直しの動きが見られた一方で、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化に伴うエネルギー価格の高騰や、円安基調の継続による物価高騰が国内消費や設備投資の抑制など景気を下振れさせる懸念に加え、米国トランプ政権発足によって世界的に政治や経済が混乱する恐れもあり、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが関連する建設市場におきましては、「2024年問題」と呼ばれる時間外労働規制の本格化により、これまでの建設技能労働者の不足に拍車がかかり工期遅延などへ波及しております。さらに鋼材価格の高止まりが続くなど厳しい状況で推移する一方、インフラ整備を中心とした一定水準の需要に支えられ、底堅く推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループにおきましては、今年度よりスタートした新中期経営計画「S.T.G Vision2026」“私たちは、安全・安心・環境・健康をキーワードに事業拡大とニッチトップを実現します”（最終年度2027年3月期）のもと、「人財育成」、「全体最適化」、「新事業創出」をはじめとした経営課題への取り組みを通じて、企業価値の向上に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高15,702百万円（前年同期比0.4%減）、営業利益1,046百万円（同32.9%減）、経常利益1,061百万円（同31.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は948百万円（同30.1%減）となりました。

各セグメントの業績は以下のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分方法を変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。報告セグメントの変更につきましては、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等の注記）」をご参照ください。

#### ①ファスニング事業

当社の主力製品である、あと施工アンカーの販売は、前年を上回る水準で堅調に推移いたしましたが、電動油圧工具関連の販売並びに完成工事高は、前年を下回りました。

この結果、当セグメントの売上高は13,062百万円（前年同期比1.5%減）、セグメント利益は1,762百万円（同15.1%減）となりました。

#### ②機能材事業

FRPシート関連、アルコール検知器関連並びに包装・物流機器関連の販売は、前年を上回る水準で推移いたしましたが、電子基板関連の販売は、前年を下回りました。

この結果、当セグメントの売上高は2,639百万円（同5.8%増）、セグメント損失は1百万円（前年同期はセグメント利益218百万円）となりました。セグメント損失は、主に電子基板関連のコスト増の影響のほか、子会社株式取得関連費用によるものであります。

### (2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は15,509百万円となり、前連結会計年度末に比べ375百万円（2.5%）増加いたしました。これは主に受取手形、売掛金及び契約資産、棚卸資産が減少した一方、現金及び預金が増加したことによるものであります。固定資産は10,669百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,174百万円（12.4%）増加いたしました。これは主に土地、投資その他の資産が増加したことによるものであります。

この結果、総資産は26,179百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,549百万円（6.3%）増加いたしました。

流動負債は2,935百万円となり、前連結会計年度末に比べ537百万円（15.5%）減少いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が増加した一方、短期借入金、未払法人税等が減少したことによるものであります。固定負債は4,705百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,112百万円（31.0%）増加いたしました。これは主に長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は7,640百万円となり、前連結会計年度末に比べ575百万円（8.1%）増加いたしました。

純資産合計は18,538百万円となり、前連結会計年度末に比べ974百万円（5.5%）増加いたしました。これは主に利益剰余金、その他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期通期の連結業績予想につきましては、2024年5月10日公表の業績予想から変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,276,884	3,973,290
受取手形、売掛金及び契約資産	5,163,748	4,784,473
棚卸資産	6,555,036	6,446,305
その他	140,915	305,747
貸倒引当金	△3,043	△307
流動資産合計	15,133,541	15,509,510
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,227,197	2,230,959
土地	4,103,129	4,220,720
その他（純額）	677,913	1,201,273
有形固定資産合計	7,008,241	7,652,952
無形固定資産	152,850	124,536
投資その他の資産	2,334,396	2,892,018
固定資産合計	9,495,487	10,669,507
資産合計	24,629,028	26,179,018
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,337,844	1,427,178
短期借入金	210,000	60,000
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	331,497	477,760
未払法人税等	355,286	31,003
賞与引当金	148,577	215,641
その他	1,079,161	713,761
流動負債合計	3,472,366	2,935,344
固定負債		
社債	30,000	25,000
長期借入金	2,007,778	3,088,884
役員退職慰労引当金	54,316	56,714
退職給付に係る負債	1,150,484	1,180,229
その他	350,033	354,354
固定負債合計	3,592,612	4,705,181
負債合計	7,064,978	7,640,526
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	768,590	768,590
資本剰余金	595,769	600,446
利益剰余金	15,802,287	16,471,852
自己株式	△507,870	△503,960
株主資本合計	16,658,777	17,336,928
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	58,660	229,378
為替換算調整勘定	524,616	622,995
その他の包括利益累計額合計	583,276	852,374
新株予約権	42,129	42,129
非支配株主持分	279,866	307,058
純資産合計	17,564,049	18,538,491
負債純資産合計	24,629,028	26,179,018

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	15,760,672	15,702,399
売上原価	10,760,539	11,028,943
売上総利益	5,000,133	4,673,455
販売費及び一般管理費	3,439,432	3,626,480
営業利益	1,560,700	1,046,974
営業外収益		
受取利息	1,939	1,500
受取配当金	17,380	27,368
仕入割引	19,824	20,414
為替差益	5,106	—
保険解約返戻金	—	25,708
その他	32,352	44,854
営業外収益合計	76,603	119,846
営業外費用		
支払利息	5,806	9,787
売上割引	72,879	73,157
持分法による投資損失	2,912	818
為替差損	—	13,731
その他	9,387	7,932
営業外費用合計	90,985	105,427
経常利益	1,546,317	1,061,394
特別利益		
固定資産売却益	417	752
投資有価証券売却益	1,195	115,347
負ののれん発生益	304,306	145,466
特別利益合計	305,919	261,567
特別損失		
固定資産売却損	—	246
固定資産除却損	2,314	29,909
特別損失合計	2,314	30,156
税金等調整前四半期純利益	1,849,922	1,292,804
法人税等	484,640	336,411
四半期純利益	1,365,282	956,393
非支配株主に帰属する四半期純利益	8,494	8,191
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,356,788	948,201

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	1,365,282	956,393
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	60,732	170,714
為替換算調整勘定	138,815	117,546
その他の包括利益合計	199,547	288,260
四半期包括利益	1,564,829	1,244,653
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,538,152	1,217,299
非支配株主に係る四半期包括利益	26,677	27,354

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	ファスニング 事業	機能材事業			
売上高					
一時点で移転される財及び サービス	11,179,739	2,495,141	13,674,880	—	13,674,880
一定の期間にわたり移転さ れる財及びサービス	2,085,791	—	2,085,791	—	2,085,791
顧客との契約から生じる 収益	13,265,530	2,495,141	15,760,672	—	15,760,672
外部顧客への売上高	13,265,530	2,495,141	15,760,672	—	15,760,672
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,629	125,409	132,038	△132,038	—
計	13,272,159	2,620,550	15,892,710	△132,038	15,760,672
セグメント利益	2,076,911	218,084	2,294,996	△734,296	1,560,700

(注) 1. セグメント利益の調整額△734,296千円には、セグメント間取引消去15,038千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△749,334千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「ファスニング事業」セグメントにおいて、2023年6月30日をみなし取得日として新光ナイロン株式会社の株式を取得したことにより、同社を連結の範囲に含めております。当該事象により、負ののれん発生益を209,783千円計上しております。

「機能材事業」セグメントにおいて、2023年6月30日をみなし取得日として株式会社光洋の株式を取得したことにより、同社を連結の範囲に含めております。当該事象により、負ののれん発生益を94,522千円計上しております。

なお、負ののれん発生益の金額は、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直し反映された後の金額としております。また、負ののれん発生益は特別利益のため上記セグメント利益には含まれておりません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	ファスニング 事業	機能材事業			
売上高					
一時点で移転される財及び サービス	11,678,351	2,639,792	14,318,144	—	14,318,144
一定の期間にわたり移転さ れる財及びサービス	1,384,255	—	1,384,255	—	1,384,255
顧客との契約から生じる 収益	13,062,606	2,639,792	15,702,399	—	15,702,399
外部顧客への売上高	13,062,606	2,639,792	15,702,399	—	15,702,399
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16,890	109,911	126,801	△126,801	—
計	13,079,497	2,749,704	15,829,201	△126,801	15,702,399
セグメント利益又は損失(△)	1,762,294	△1,612	1,760,681	△713,706	1,046,974

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△713,706千円には、セグメント間取引消去11,207千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△724,913千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「機能材事業」セグメントにおいて、2024年12月31日をみなし取得日としてアキヤ電気株式会社の株式を取得したことにより、同社を連結の範囲に含めております。当該事象により、負ののれん発生益を145,466千円計上しております。

なお、負ののれん発生益の金額は当第3四半期連結会計期間末において、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。また、負ののれん発生益は特別利益のため上記セグメント利益又は損失(△)には含まれておりません。

## 3. 報告セグメント変更等に関する事項

当社グループは、第1四半期連結会計期間より、各報告セグメントの構成内容を見直し、「機能材事業」に含めておりました電動油圧工具関連事業を「ファスニング事業」に移管いたしました。

これは、新中期経営計画「S.T.G Vision2026」“私たちは、安全・安心・環境・健康をキーワードに、事業拡大とニッチトップを実現します”の遂行にあたり、ファスニング事業の拡大に向け、マネジメント体制の変更を行ったことによるものであります。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成しておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	259,838 千円	290,547 千円
のれん償却額	17,861 千円	14,886 千円